
「中腎様癌の臨床病理学的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で卵巣・子宮腫瘍の手術を受けた患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、埼玉医科大学総合医療センター病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年4月1日から2025年2月28日の期間に埼玉医科大学総合医療センターで卵巣・子宮腫瘍の手術を受け、中腎様癌と診断された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

中腎様癌(mesonephric-like adenocarcinoma, 以下 MLA)は子宮や卵巣に発生する特殊な腺癌ですが、MLAと診断されている症例はほとんどなく、したがってその臨床病理学的意義は不明確です。そこで本研究では、MLAとすべき症例を免疫組織化学と形態により抽出し、その病理学的特徴や予後を解析します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

病理診断が終了した病理組織残余検体および年齢、閉経の有無、ホルモン値、腫瘍マーカー、血算生化、形態、免疫染色(ER, PgR, CD10, Calretinin, RB, TTF1, GATA3, ARID1A, p53, PTEN), 単一遺伝子変異解析(KRAS, PIK3CA等)についての情報を用います。免疫染色(ER, PgR, CD10, Calretinin, RB, TTF1, GATA3, ARID1A, p53, PTEN)および単一遺伝子変異解析(KRAS, PIK3CA等)で不足した情報は残余検体を用いて解析します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である東 守洋が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

中腎様癌と診断された患者さんの病理組織残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 美山優（研究代表者）
京都大学医学部附属病院 病理部 南口 早智子
岡山大学病院 病理診断科 柳井 広之
東京慈恵会医科大学 病理学講座 清川 貴子
東海大学医学部 基盤診療学系病理診断学 梶原 博
熊本大学病院 病理診断科(病理部) 川上 史
堺市立総合医療センター 病理診断科 安原 裕美子
徳島県立中央病院 病理診断科・臨床検査科 工藤 英治
東京医療センター 臨床検査科 白石 淳一
埼玉医科大学総合医療センター 病理部 東 守洋

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文
<提供先機関> 埼玉医科大学国際医療センター

5. 試料・情報の提供について

病理診断報告書や臨床情報は、個人が特定されないように加工し郵送もしくはPDF化し電子メールにて埼玉医科大学国際医療センターに送付されます。病理組織検体は埼玉医科大学内のキャンパス間の学内便で埼玉医科大学国際医療センターに送付されます。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター病理部 東 守洋

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3522（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：中腎様癌の臨床病理学的検討

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 美山優